

世界の生乳生産、2025 年は回復基調に 乳製品貿易量は高値で微減予測 FAO「食料アウトルック」2025 年 11 月号より

国連食糧農業機関(FAO)が、世界の農産物需給などの概況を見通す「食料アウトルック(Food Outlook)」の最新報告(11月13日に公表)によると、2025年の世界の生乳生産量は2年連続で緩やかに回復し、前年比1.4%増の約9億9230万トンになると予測している。一方、2025年の世界の乳製品貿易量は、国際価格の高止まりが需要を抑え1.3%減少すると予測した。市場は回復基調にあるものの貿易政策の不確実性が陰を落とす状況が続いており、今後の動向を注意深く観察していく必要がある。

以下では、報告書の中から、乳・乳製品の市場動向とニュースリリースの概要を紹介する(読みやすさを考慮し、Jミルクで小見出しなどを補った)。

【食料アウトルック】(*1)

生乳生産はアジアと南米の増産が牽引

2025年の世界の生乳生産量は、前年比1.4%増の約9億9230万トンとなり、2024年の1.1%増から拡大し、世界的な生産量の緩やかな回復が見込まれる(表1)。この増加は、アジアにおける生産拡大(ただしペースは鈍化)の継続と、中南米における成長の加速を反映している。

アジアでは、バングラデシュ、インド、パキスタンを中心とする南アジアでの生産性向上に加え、主に乳牛頭数の増加により生乳生産の増加が見込まれる。一方、中国では支払い乳価低迷により小規模生産者が撤退したことで2024年に

生産量が2.8%減少したものの、大規模生産者の統合による生産性向上が乳牛頭数減少の影響を補い、生産量は次第に安定化すると予想される。

欧州連合(EU)の生乳生産は、各国の生産動向に差が生じることが見込まれるが、前年比では伸び率が鈍化するものの緩やかに増加すると予想される。

米国では飼料価格の安定と高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)に関連した混乱からの回復が生産量の増加を支え、ニュージーランドでは高水準の支払い乳価と好ましい気候条件が生産回復を促している。

表1. 世界の乳・乳製品市場の概観(*1)

世界総量	2023年	2024年 (推定)	2025年 (予測)	増減(%): 2025年/ 2024年
総生乳生産量(百万t)	968.7	979.0	992.3	1.4
総貿易量(生乳換算百万t) ¹	86.3	87.8	86.7	-1.3
1人当たり消費量				
世界(kg/年)	119.2	119.6	120.2	0.5
貿易のシェア(%)	8.9	9.0	8.7	-2.6
FAO 乳製品価格指数 (2014~2016年=100)	2023年	2024年	2025年 1~10月	増減(%): 2025年1~10月/ 2024年1~10月
	124	130	150	17.3

世界の乳製品貿易量は 1.3%減 中国回復も主要輸入国が減速

2025年の世界の乳製品貿易量は、国際価格の高止まりが消費者の購買力に影響を与えたことより、1.3%減少すると予測される。この需要縮小傾向は、新興市場における通貨安によってさらに悪化している。

一方、主要輸入国(特にアルジェリア、エジプト、サウジアラビア)における国内の生乳生産状況の改善と、継続的な貿易政策の不確実性が、

世界の輸入需要をさらに抑制した。これらの要因は、世界最大の乳製品輸入国である中国における輸入の増加、その背景には中国国内の在庫補充と飼料及び栄養食品用途向けの需要増があるが、こうした中国の輸入増加を相殺する以上の影響を与えている。

このように、貿易政策の不確実性が続いており、世界市場への影響と貿易の動向を注意深く観察していく必要がある。

表 2. 乳製品の国際価格および FAO 乳製品価格指数(*1)

期間	国際価格 (米ドル/t)				FAO 乳製品価格 指数 (2014~ 2016年=100)
	バター ¹	脱脂粉乳 ²	全粉乳 ³	CHEDDAR チーズ ⁴	
年次(1~12月)					
2014年	4 278	3 606	3 854	4 542	130
2015年	3 306	2 089	2 537	3 076	87
2016年	3 473	1 986	2 481	2 807	83
2017年	5 641	2 011	3 163	3 664	108
2018年	5 587	1 834	3 060	3 736	107
2019年	4 443	2 440	3 186	3 435	103
2020年	3 844	2 610	3 041	3 504	102
2021年	4 995	3 176	3 855	3 850	120
2022年	6 608	3 862	4 253	4 998	150
2023年	5 100	2 692	3 327	4 486	124
2024年	6 993	2 689	3 691	4 291	130
月次					
2024年10月	7 828	2 749	3 886	4 570	139
2024年11月	7 882	2 779	3 991	4 585	140
2024年12月	7 617	2 751	4 135	4 685	141
2025年1月	7 348	2 688	4 049	4 929	143
2025年2月	7 408	2 731	4 225	5 127	148
2025年3月	7 826	2 773	4 241	5 077	149
2025年4月	8 035	2 820	4 349	5 160	152
2025年5月	8 070	2 821	4 530	5 202	154
2025年6月	8 334	2 813	4 424	5 308	155
2025年7月	8 207	2 783	4 330	5 326	155
2025年8月	7 996	2 835	4 307	5 215	152
2025年9月	7 228	2 680	4 126	5 187	147
2025年10月	6 811	2 574	3 879	5 108	142

¹バター: 乳脂肪 82%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

²脱脂粉乳: 乳脂肪 1.25%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

³全脂粉乳: 乳脂肪 26%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

⁴CHEDDARチーズ、最大水分 39%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

注: FAO 乳製品価格指数は、国際的に取引されている EU とオセアニアの代表的な乳製品の貿易加重平均から算出される。

乳製品国際価格は高値圏 チーズ・全粉乳が上昇を牽引

2025年の乳製品の国際価格は、最近多少低下したものの、バター価格の記録的な高値と堅調なチーズの相場に牽引されて上昇を続けた後、堅調で高止まりの状況が続いている(表 2)。2025年11月のFAO乳製品価格指数は平均142.2ポイントで、5月を7%下回ったが、1~10月平均では前年比で17%上昇した。

主要製品全般で価格が上昇し、特にチーズと全粉乳が牽引した。これはアジア及び中東主要市場での持続的な需要増を反映している。脱脂粉乳は、豊富な供給と先行した在庫積み増し後の購入意欲鈍化により、わずかな上昇にとどまった。バター価格は6月に過去最高を記録したが、その後、乳生産の回復の予測と輸出国間の競争激化により、下半期に下落した。

【ニュースリリース】(*2)

世界の食料品市場は「やや楽観的」もリスクは残存

最新のFAO「食料アウトルック」によると、主要な食料の2025年の生産量は、堅調な消費拡大と在庫回復に支えられ、全体的に増加している。一方、変化する世界貿易環境と持続的な貿易政策の不確実性により、貿易の見通しは依然として不透明である。

また、世界の小麦と粗粒穀物の生産量は新記録を更新すると予測しており、アジアおよびラテンアメリカ・カリブ海地域のコメ生産も同様である。小麦、トウモロコシ、コメの市場は輸出可能な供給量が豊富であることが特徴であり、これが価格に下落圧力をかけている。一方、低所得で食糧が不足している国では、小麦、特にコメの消費は大幅に増加すると予想される。

FAOは、世界の食料生産の回復は市場安定に向けた前向きな転換点であるが、異常気象か

ら脆弱な貿易関係に至るまで、世界の供給とアクセスを急速に変える可能性のある持続的なリスクも潜んでおり、農業食品システム全体のレジリエンス(強靱性)構築が最大の課題であるとしている。

肥料市場は価格低下で需要回復

FAOは、肥料の供給と価格の低下により、2024/25シーズンに世界の肥料需要が回復したことを明らかにした。2025年9月の肥料価格は、2022年4月のピークから40%下落したものの、2024年よりは依然高い水準にある。窒素肥料の供給量は、2025年および2026年の輸出割当量増加に伴い中国が世界市場に復帰したことで支えられ、短期的には十分な水準を維持すると見込まれる。

FAO「食料アウトルック」とは

年に2回発行され、穀物、植物油、砂糖、肉、乳製品、魚など、世界の主要な食料品の市場需給の動向をFAOが検証している。また、食料品の先物市場や輸送コストの動向についても言及している。

参考資料:

(*1)<https://doi.org/10.4060/cd7448en> Food Outlook. November 2025. Food and Agriculture Organization of the United Nations.

(*2)<https://www.fao.org/newsroom/detail/fao-food-outlook-points-to-broad-based-increase-in-global-food-commodity-production/en> FAO Food Outlook points to broad-based increase in global food commodity production

(資料閲覧:2025年11月13日)

(Jミルク 国際グループ)